仁生会 創立60周年
記念講演会開催

Beggar of Andesのメロディーで開幕

特定医療法人仁生会は今年7月、創立60周年を迎えました。

それを記念し、7月22日（土）に高知県立ふくし交流プラザにおいて、職員や一般の方々500名近くの聴講者に参加していただき、記念講演会を開催いたしました。

会場では、細木病院のケーナサークルBeggar of Andesの軽快なメロディーでお出迎え。細木秀美理事長の挨拶の後、スライドにより60年のあゆみを早あしで振り返り、来賓を代表し、高知大学相良裕輔学長よりお祝いの言葉を頂きました。

細木病院山本博司院長によるテーマ〝「運動器」の健康管理～若々しい85歳を迎えるために～〟、高知女子大学青山英康学長によるテーマ〝豊かで健やかな「老人大国」を目指して〟の記念講演へとプログラムは移りました。

山本院長の講演では、運動器障害に対して初期治療の重要性を説かれ、自らの運動器の健康に注意を促し、医療・福祉チームとよく連携、障害の予防に心がけが必要と、年齢や体力に応じた体操を具体的に紹介する内容で、腰痛などの持病を持たれている方には実践的な内容でした。

青山学長は、日本の医療保険制度の崩壊の危機は急速な少子高齢化社会の訪れに起因するのではないかと提言。年々増大する老人医療費の負担増に、どのように対処していったらいいのか、この今日的課題にユーモアを交えながら解りやすく講演され、聴講者の気持ちを引き付けていました。

講演会の後は、若手の落語家三笑亭春夢さんと高知県出身の瀧川鯉朝師匠の軽妙な落語で、庶民の健康に関わる噺に会場は大きい笑いに包まれました。

職員にとっては仁生会60年の歩みを振り返り、地域に根ざした保健・医療・福祉活動のあり方を考え、この機に巡り合わせた幸せを喜びあいました。同時にまた、仁生会の更なる発展に向けて、患者様に喜ばれる職責の全うに、今後とも努力する決意を固める1日となりました。

講演する山本博司細木病院院長

講演する青山学長

満席の会場

瀧川鯉朝師匠の落語

仁生会 創立60周年記念号

8月号（No.236）
（題　字・棚田　秀子
本部・人事部長）

特定医療法人
仁生会情報誌
http://www.jinsei-kai.com

（日本医療機能評価機構認定病院）
細木病院
グループホーム
「西町」「ハッピー万々」
「赤とんぼ」デイサービス「赤とんぼ」
「さくらんぼ」デイサービス「さくらんぼ」
（日本医療機能評価機構認定病院）
細木ユニティ病院
グループホーム
「介援隊1＆2」「やまもも寮」
三愛病院
介護老人保健施設
あうん高知
日高クリニック
グループホーム
「あったかホームかも」
「あったかホームひだか」
ほそぎ東部クリニック
土佐看護専門学校
㈲積善会

発行人　細木秀美
発行所　高知市越前町1-10-17
仁生会本部
印　刷　高知印刷株式会社